



北国での暮らしや住宅について先輩移住者がアドバイス

近い将来検討したい

移住体験ツアー

今回も先輩移住者がツアーに同行し、参加者にアドバイスなどを行いました。参加者からは「効率よく移住地を見学できた」「先輩移住者のお宅訪問が参考になった」「弟子屈の良さを再確認でき、移住への思いが募った」といった感想が聞かれました。

3日目は、美留和・弟子屈原野の移住地を見学したほか、同地区に移住された方のお宅を訪問しました。先輩移住者からは、移住後の暮らしや移住に至った経緯などについてお話を聞きました。

2日目は、移住を希望する方や実際に移住された方が多い屈斜路・コタン・南弟子屈地区を見学したほか、先輩移住者のお宅を訪問。北海道での生活について伺いました。また、ガイド同行の下カヌー体験も行い、弟子屈の大自然を体感しました。

初日は医療施設見学として摩周厚生病院を訪問。担当者の案内のもと施設内を見学しました。また、物価の確認のためにスーパーやホームセンターを訪れました。

町では、7月6日から8日までの3日間の日程で「涼夏！ひがし北海道移住体験ツアーinてしかが」を実施しました。北海道への移住を考えている方に町内を訪れていただき、具体的に検討していただくことを目的に開催しているもので、今回で13回目。関東、関西、道内から4組7人の方が参加しました。



先輩移住者のお宅を訪問

地域を花でいっぱい

各地で環境美化活動



花いっぱい運動推進会などによる鈴蘭交差点付近の花壇整備



日の出自治会の皆さんによる花壇整備

7月8日には、日の出自治会の皆さんが、国道391号から摩周駅前に向かう交差点のロータリーで花壇の除草や清掃を行いました。6月17日に植栽を行った花壇の環境整備を行ったもので、18人が参加。汗ばむ陽気の中、手分けして丁寧に作業を行っていました。

弟子屈町花いっぱい運動推進会（会長 筒井貴文商工会青年部長）などの皆さんが6月16日、国道243号沿い鈴蘭地区交差点付近で、花壇の整備と植栽作業を行う「弟子屈町花いっぱいフラワーロード」事業を行いました。商工会青年部・女性部などが中心となって組織し、2005年から同事業を行っています。この日は花苗の植栽を行いました。10月までの毎月1回、除草や清掃なども行います。

町の話



町の話

町の話



町の話

えこパスポートで環境に優しい旅を

観光交通の本格運行がスタート



JR摩周駅前から摩周湖に向かう摩周湖バス

弟子屈町地域公共交通活性化協議会会長・徳永町長が行う、弟子屈2days えこパスポート事業が、今年も7月14日に始まりました。えこパスポート事業は、観光交通実証運行として2009年に開始。これまでの実績を踏まえ、今年度から町単独事業として本格運行します。えこパスポートは大人1千500円、子ども（小学生）500円で、JR釧網本線の摩周・美留和・川湯温泉間、町内路線バス、摩周湖バス、屈斜路バス、期間限定ジャンボタクシーが2日間乗り放題（乗り降り自由）というもの。公共交通機関を利用した環境に優しい旅の提案と、地域公共交通の活性化を目指します。昨年は約2千250人の方に利用いただき、好評を得ました。今年も、10月8日(月)までえこパスポートの販売を行います。えこパスポートは、JR摩周・川湯温泉両駅内のえこパスステーションのほか、(株)ツーリズムでも取り扱っていますので、皆さんもぜひ、利用してみてください。

JR川湯温泉前から出発する屈斜路バス

地域の役に立ちたい

企業による社会貢献活動



ごみ拾いを行う明盛建設の皆さん



屈斜路湖岸のごみを集める協和建設の皆さん



道行く皆さんの目を楽しませるプランターボックス

が実施する花いっぱい運動に賛同したもので、各社20個ずつ作製。国道や摩周大橋の歩道に飾られ、観光客をお迎えしています。

(株)協和建設(高橋政廣代表取締役)の皆さんが5月25日、屈斜路湖岸のごみ拾いを行いました。社会貢献活動の一環として行ったもので、6人が参加。池の湯近くの湖岸沿い約300mにわたって、ごみを拾い集めました。6月29日には、明盛建設(株)藤田文明代表取締役の皆さんが、釣別川河川敷と道路沿いなどの清掃を行いました。社内安全大会の実施に合わせて、毎年行っているもので、10年以上になります。釧路建設管理部弟子屈出張所の皆さんも加わり約40人が、上流へ向かうルートと下流に向かうルートの二手に分かれて、火ばさみと袋を手にごみを拾い集めました。また、近藤建設(株)近藤明代表取締役、(株)ホクセイ(桐木茂雄代表取締役)、(有)畑中産業(畑中博代表取締役)、(株)熊谷工務店(熊谷和則代表取締役)の皆さんが、木製のプランターボックスを作製し、町に寄贈しました。町